

プレスリリース
報道関係者各位

東京の金融サービス業界による社会貢献活動、第10回FITチャリティ・ラン
～ランナー、ウォーカー、ボランティア 総勢5900名超が参加～
～地域社会への貢献を目的に約5800万円の資金を集める～



(写真撮影:村越将浩)

東京 2014年12月7日 ー明治神宮外苑周辺コースにおいて第10回 FIT(「フィット」と読みます。)チャリティ・ラン2014が開催されました。今年のFITチャリティ・ランは国内外の金融機関 104 社からランナー、ウォーカー、ボランティア総勢5,900名が参加しました。

同イベントの趣旨に賛同した金融サービス企業から寄せられた協賛金、イベントTシャツやチャリティくじなどの収益金、参加費、参加企業および参加者から寄せられた寄付金の総額は、58,369,800円(後日正式な金額が確定します)にのぼりました。この寄付金から経費を差し引いた額を、以下の6団体に寄付します。

- 子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク
- END ALS
- 日本補助犬協会
- ホープソリー



- ライツオン・チルドレン
- ティーチフォー・ジャパン

FITチャリティ・ラン2014共同実行委員長を務めるマーカス・ウォングは、次のようにコメントしました。
今年はFIT 10回目の年を迎えました。2005年以来、金融業界よりのべ5万人の参加者やボランティアが5億円を超える額を70団体に寄付いたしました。このコミットメントは金融業界が継続して東京および東北地域(2011年)や人々に大きく貢献してきた証です。

FITチャリティ・ラン2014共同実行委員長を務める松方留美は、「今年は国立競技場建て替えに伴い、スタジアムがない明治神宮外苑コースにてイベントを行い、2005年から2007年に皇居で行っていたときのようなイベントとなりました。このような変化の中でも52社のスポンサーやサポーター企業、そして5,900人を超えるボランティア、ランナー、ウォーカーの方々がチャリティのために本日集まって下さいました。改めまして日本サイクリング協会、明治神宮外苑、協賛企業、ボランティア、そして本日まで多大なサポートして下さいましたみなさまに心より御礼申し上げます。」と述べました。

FIT チャリティ・ラン2014 実行委員会

ベインキャピタル、三菱東京 UFJ 銀行、バークレイズ、株式会社バリアフリーカンパニー、ブラックロック、ブルームバーグ エル・ピー、BNP パリバ・グループ、BNY メロン、シティ、クレディ・アグリコル・グループ、トーマツグループ、ドイツ銀行グループ、EY ジャパン、アイエヌジー生命保険、J.P.モルガン、KPMG ジャパン、マッコーリー・グループ、メットライフ生命保険株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、モルガン・スタンレー、株式会社みずほフィナンシャルグループ、みずほ証券株式会社、日興アセットマネジメント株式会社、ピムコジャパンリミテッド、PwC ジャパン、ロバート・ウォルターズ・ジャパン、スキルハウス、ソシエテ ジェネラル、スイス・リー、トムソン・ロイター・マーケッツ株式会社、UBS グループ、ウェルズ・ファargo、ホワイト&ケース (アルファベット順)

この件に関するお問い合わせ先:communications@fitforcharity.org

FITチャリティ・ランについて

FITチャリティ・ランは2004年のスマトラ沖大地震およびインド洋で津波被害を受け亡くなった地域の方や東京のご家族のために金融業界として何かしたいという思いから始まりました。第1回は2005年9月に東京の金融サービス企業が集結して日本の非営利団体を支援する目的で設立されました。FITチャリティ・ランの支援先団体は、地域社会に密着した意義ある活動を行っていながらも、認知度が低い等の理由により、十分な活動資金の確保が困難な団体を中心としています。www.fitforcharity.org

大会概要

大会名称: FIT チャリティ・ラン2014



開催日：2014年12月7日(日)雨天決行

コース：明治神宮外苑周辺コース(東京都新宿区)

結果：

10キロ・ラン男子1位：フジワラ ユウト / (スイス・リー) 30分12秒

10キロ・ラン女子1位：エリス サリー(マイケル・ペイジ・インターナショナル・ジャパン株式会社) 33分31秒

4キロ・ラン男子1位：スズキ ジュンイチ(トーマツ グループ) 11分20秒

4キロ・ラン女子1位：タカハシ シズコ(ドイツ銀行グループ) 14分02秒

最も多くの寄付金を集めた団体：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

主催： FITチャリティ・ラン2014実行委員会

後援： 朝日新聞社、日本経済新聞社

特別支援： 公益財団法人 日本サイクリング協会

協賛：

【企業スポンサー(寄付金50万円以上)】

アバディーン・アセット・マネジメント・グループ、アライアンス・バーンスタイン、オーストラリア・ニュージーランド銀行、アクサ生命保険株式会社、バンクオブアメリカ・メルリランチ、バークレイズ、ブラックロック、ブルームバーグ エル・ピー、BNP パリバ・グループ、BNY メロン、シービーアールイー株式会社、シティ、クレディ・アグリコル・グループ、クレディ・スイス、トーマツグループ、ドイツ銀行グループ、EY ジャパン、ファクトセット、ファーストブラザーズ株式会社、フランクリン テンプルトン インベストメンツ、ゴールドマン・サックス、いちごアセットマネジメント株式会社、インベスコ、J.P.モルガン、日本相互証券株式会社、株式会社 証券保管振替機構、JLL、KPMG ジャパン、マッコーリー・グループ、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、三菱 UFJ モルガン・スタンレーPB 証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、モルガン・スタンレー、株式会社みずほフィナンシャルグループ、ナショナルオーストラリア銀行、日興アセットマネジメント株式会社、ピムコジャパンリミテッド、PwC ジャパン、ロバート・ウォルターズ・ジャパン、ロイヤルバンク・オブ・スコットランド・グループ、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社、ソシエテ ジェネラル、スイス・リー、タタ・コンサルタンシー・サービス・ジャパン、トムソン・ロイター・マーケットズ株式会社、東京スター銀行、UBS グループ、ウェルズ・ファーゴ、ホワイト&ケース

【企業サポーター(寄付金35万円以上)】

GEキャピタル、メットライフ生命保険株式会社

【協力】

アビリティス ホスピタリティ株式会社、エールフランス航空、福永晃(写真家)、ANAインターコンチネンタルホテル東京、アントニー・トラン(写真家)、アサヒフードアンドヘルスケア株式会社、旭川グランドホテル、株式



会社バリアフリーカンパニー、ブルーノート東京、株式会社チェリオコーポレーション、コンラッド東京、コットンクラブ、株式会社ディプロマツト、グランド ハイアット 東京、株式会社ホテルオークラ東京、ハイアットリージェンシー 京都、帝国ホテル、村越将浩(写真家)、三井不動産ビルマネジメント株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、モエ・エ・シャンドン、マザーウォーター株式会社、モーション・ブルー・ヨコハマ、日本通運株式会社、ワン・ニセコ・リゾート・タワーズ、オリエンタルホテル広島、オリエンタルホテル東京ベイ、大塚ホールディングス株式会社、パークホテル東京、パーク ハイアット 東京、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社、株式会社ルーツ・スポーツ・ジャパン、六本木ヒルズクラブ、ロイヤルパークホテル ザ 汐留、中山 秀(グラフィック デザイナー)、スキルハウス・スタッフィング・ソリューションズ株式会社、トムス株式会社、株式会社ユニフルーティー ジャパン、ユナイテッド航空

FIT チャリティ・ラン 2014 の支援先団体一覧(アルファベット順)

子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク

電話相談等を通じて、子どもに対する虐待・ネグレクトの発見に努めるとともに、民間専門組織や公的機関との連携を図り、子ども虐待・ネグレクトの防止と対応を普及・促進しています。

<http://cmpn.childfirst.or.jp/>

END ALS

ALS(筋萎縮性側索硬化症)の治療法の確立と、ALS 患者が快適にコミュニケーションできるように政策改善することを使命としています。<http://end-als.com/>

日本補助犬協会

我々は日本で唯一、盲導犬、介助犬、聴導犬の 3 種類を育成・認定し、公共施設等に対して、こうした補助犬の受け入れ拒否が無くなるよう啓発活動に取り組んでいます。歴史が浅い介助犬、聴導犬の分野において、我々がこれまでに育成・認定頭数は全国総数の半数に達します。<http://www.hojyoken.or.jp/>

ホープツリー

ホープツリーは、医療ソーシャルワーカーや臨床心理士、チャイルドライフスペシャリスト、医師などの医療関係者が、がんになった親およびその子どもにとって有益な情報を伝え、子どもの生きていく力を支える活動を通して、困難に直面した親子を支援し、またその支援する輪が広がっていくことを目的に、活動しています。<http://www.hope-tree.jp/>

ライツオン・チルドレン

私たちは児童養護施設を退所する子ども達の自立支援に特化した活動を行っています。また、児童養護と



企業の双方の事情を理解していることを強みとして、支援をスムーズに仲介する「ハブ」を目指していきます。<http://lightson-children.com/>

ティーチフォーアジア

すべての子どもが素晴らしい教育を受けることができる社会の実現を使命に掲げ、優秀な人材を選抜育成し、課題解決に取り組む学校に教師として派遣します。<http://teachforjapan.org/>